

スピルキットドラムの耐候性について

1. 耐候性試験結果

試験方法：ドラム本体より採取した試験片をSunshine Weather-0-meterにて試験を実施しその伸び保持率（5%以内、合格）にて耐候性を確認しました。引張り試験速度は50mm/minとしました。

照射時間 (hrs)	伸び保持率 (%)
0	
500	95
1000	105
1500	105
2000	102
2500	100
3000	105

* 3000時間照射で、伸び残存率の低下はまったく認められませんでした。

* 自動車部品（プラスチック）の耐候性試験は600時間を1年とし、伸び保持率5%以内とされています。

* スピルキットの外観検査は5年以内に行なってください。

2. 材質について

部品名称	材質
本体	ポリエチレン
蓋	ポリエチレン
ガスケット	天然ゴム
締め付けバンド	亜鉛鉄板
ストッパー	亜鉛鉄板

以上